

平成25年住宅・土地統計調査速報（石川県分）の概要

住宅・土地統計調査は、国民の住生活に関する最も基本的な調査で、住生活関連諸施策立案のための基礎資料を得ることを目的として、昭和23年以来5年ごとに実施されている調査です。

この資料は、平成25年10月1日現在で実施された調査の結果（速報）について、石川県分の概要をとりまとめたものです。

なお、この調査は標本調査であり、本県で調査対象となったのは、約31千の住戸と世帯（全国で約350万の住戸と世帯）です。

（総務省統計局発表（平成26年7月29日）の「平成25年住宅・土地統計調査（速報集計）結果」より）

（※全国順位は、1の空き家率を除き、数値の大きい順とした。）

1 空き家率は14.8%で、前回に比べ0.2ポイント上昇 【全国第28位（前回：第29位）】

本県の総住宅数は520千戸で、前回（平成20年）からの5年間で22千戸（4.5%）増加した。また、空き家率は14.8%で、前回に比べ0.2ポイント上昇し、全国第28位（前回：第29位）となった。

なお、全国の総住宅数は6,063万戸で、前回からの5年間で305万戸（5.3%）増加し、空き家率は13.5%となり、前回に比べ0.4ポイント上昇した。

2 持ち家住宅率は70.9%で、前回に比べ1.8%ポイント上昇 【全国第18位（前回：第21位）】

本県の持ち家住宅率は70.9%で、前回に比べ1.8ポイント上昇し、全国第18位（前回：第21位）となった。

なお、全国の持ち家住宅率は61.9%で、前回から0.8ポイント上昇した。

3 木造率は75.6%で、前回に比べ0.4ポイント上昇 【全国第14位（前回：第15位）】

本県の住宅の木造率（防火木造含む。）は75.6%で、前回に比べ0.4ポイント上昇し、全国第14位（前回：第15位）となった。

なお、全国の木造率は57.8%で、前回から1.1ポイント減少した。

4 一戸建て率は 71.5%で、前回に比べ 0.8%ポイント上昇 【全国第 21 位（前回：第 22 位）】

本県の一戸建て率は 71.5%で、前回に比べ 0.8 ポイント上昇し、全国第 21 位（前回：第 22 位）となった。

なお、全国の一戸建て率は 54.9%で、前回から 0.4 ポイント減少した。

**5 1 住宅当たりの居住室の畳数は 41.77 畳で、前回に比べ 0.27 畳減少
【全国第 8 位（前回：第 7 位）】**

本県の専用住宅 1 住宅当たりの居住室の畳数は 41.77 畳で、前回に比べ 0.27 畳減少し、全国第 8 位（前回：第 7 位）となった。

なお、全国の専用住宅 1 住宅当たりの居住室の畳数は 32.69 畳で、前回は 0.26 畳上回った。

**6 1 住宅当たりの延べ面積は 126.42 m²で、前回に比べ 0.46 m²増加
【全国第 7 位（前回：第 7 位）】**

本県の専用住宅 1 住宅当たりの延べ面積は 126.42 m²で、前回に比べ 0.46 m²上回ったものの、全国第 7 位と前回と順位に変動はなかった。

なお、全国の専用住宅 1 住宅当たりの延べ面積は 93.55 m²で、前回は 1.14 m²上回った。

**7 1 人当たり居住室の畳数は 16.20 畳で、前回に比べ 0.63 畳増加
【全国第 3 位（前回：第 3 位）】**

本県の 1 人当たり居住室の畳数は 16.20 畳で、前回に比べ 0.63 畳増加したものの、全国第 3 位と順位に変動はなかった。

なお、全国の 1 人当たり居住室の畳数は 13.54 畳で、前回は 0.77 畳上回った。

※ 住宅・土地統計調査

我が国における住戸(住宅及び住宅以外で人が居住する建物)に関する実態並びに現住居以外の住宅及び土地の保有状況等に関する実態を調査し、その現状と推移を全国及び地域別に明らかにすることにより、住生活関連諸施策の基礎資料を得ることを目的として、昭和 23 年以来 5 年ごとに実施しており、平成 25 年の調査は 14 回目に当たる。

主な調査内容は、居住室の数及び広さ、敷地面積、建物の構造、高齢者等のための設備の有無、増改築及び改修の有無、耐震診断の有無のほか、東日本大震災による転居の有無等の調査も行った。